

エコアクション21

環境経営レポート



2023 年度
(2023 年 6 月～2024 年 5 月)

環整工業 株式会社

発行日 2024 年 7 月 31 日

【 目 次 】

表 紙	1
目 次	2
1. 事業概要	3～4
1) 事業者名及び代表者名	2) 所在地
3) 法人設立年月日	4) 資本金
5) 責任者及び事務局	6) 連絡先
7) 事業活動の内容	8) 適用事業範囲
9) 事業規模	10) 情報公開項目
2. EA-21 推進組織図	5
3. 環境方針	6
4. 環境負荷の調査結果と取組み状況まとめ	7～8
1) 環境負荷のとりまとめ表	
2) 環境への取組み状況	
5. 環境目標	9
6. 主要な環境活動計画の内容	10～13
1) 二酸化炭素排出量の削減	2) 廃棄物削減
3) 水資源使用量の削減	4) 紙資源使用量の削減
5) 化学物質の適正使用	6) グリーン購入の推進
7) 環境保全取組の向上	
7. 実績	14～19
1) 二酸化炭素排出量の削減	2) 廃棄物削減
3) 水資源使用量の削減	4) 紙資源使用量の削減
5) 化学物質の適正使用	6) グリーン購入の推進
7) 環境保全取組の向上	
8. 環境活動取組結果の評価と次年度の取組	20～25
環境管理責任者の評価	
1) 二酸化炭素排出量の削減	2) 廃棄物削減
3) 水資源使用量の削減	4) 紙資源使用量の削減
5) 化学物質の適正使用	6) グリーン購入の推進
7) 環境保全取組の向上	
次年度活動計画 中期活動計画	
社長による全体の評価と見直し結果	
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	26～27
1) 関連法規制の違反	
2) 地域住民からの苦情・クレーム	
3) 関係機関からの訴訟等	

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

環境工業 有限会社
取締役社長 内藤 大蔵

2) 所在地

〒842-0121
佐賀県神埼市神埼町志波屋 1738-1

3) 法人設立年月日

1970年 9月 26日

4) 資本金

1000万円

5) 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 : 川本 浩章
EA-21 事務局 : 内藤 京子

6) 連絡先

連絡担当者: 川本 浩章(環境管理責任者)
志波屋事務所
TEL : 0952-52-2718
FAX : 0952-52-4669
E-mail: kansei.k@umwelt.co.jp

7) 事業活動の内容(対象全活動)

- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・浄化槽保守点検・清掃業
- ・公共下水道終末処理場・各種汚水処理場の維持管理業
- ・公共下水道管路の洗浄・カメラ調査・更生及び補修業

8) 適用事業範囲(対象全組織)

本社: 佐賀県神埼市神埼町志波屋 1738-1

9) 事業規模

		2021 年度	2022 年度	2023 年度
一般廃棄物収集運搬量	(t)	7033.52	6853.43	6064.03
産業廃棄物収集運搬量	(t)	468.53	489.34	635.99
売上高	(百万円)	249	271	247
従業員数	(人)	21	21	21
床面積	(㎡)	860.8	860.8	860.8



10) 情報公開

① 許可の内容

許可証

事業区分	許可区域	許可番号	有効年月日	
一般廃棄物収集運搬業	神崎市	5 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
	吉野ヶ里町	吉住環一第 6-3 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
浄化槽清掃業	神崎市	8 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
	吉野ヶ里町	吉住環浄第 6-1 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
浄化槽保守点検業	佐賀県	佐保福第 19 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月 31 日
産業廃棄物収集運搬業	佐賀県	4101123439	令和 2 年 12 月 8 日	令和 7 年 12 月 7 日
	福岡県	4000123439	令和 3 年 9 月 14 日	令和 8 年 9 月 13 日
一般建設業	佐賀県	10623 号	令和 5 年 3 月 3 日	令和 10 年 3 月 2 日

許可内容

収集運搬業	積替え・保管行為を含まない
収集運搬する産業廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸(食品廃棄物に限る)、廃アルカリ(食品廃棄物に限る)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、動物のふん尿並びに廃プラスチック類、金属くず、及びガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず(自動車等破砕物を除く) 以上14種類
建設業の種類	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道設備工事業

② 施設、設備等の状況

保有車台数

部門名	車種		台数
一般廃棄物収集・運搬	収集運搬車	10t	2台
		4t	3台
		3t	2台
	給水車	3t	2台
	軽トラック		4台
浄化槽管理	軽パネル車(予備車含む)		8台
下水道管路維持管理	カメラ車		2台
	補修車		2台
	洗浄車	4t	1台
		2t	3台
	営業車		2台
	ユニック	3t	1台
合 計			32台

③ 収集運搬実績

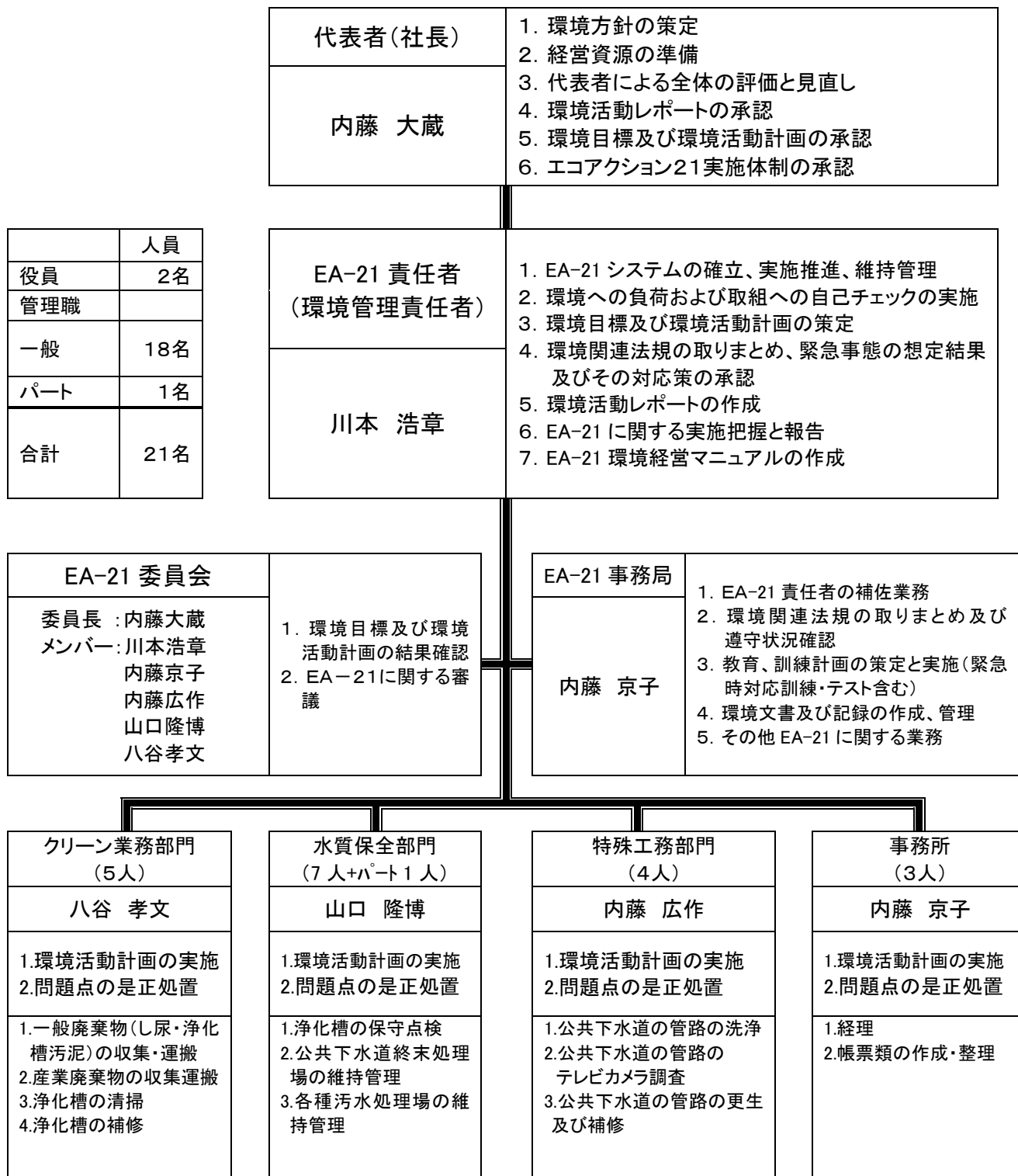
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
収集運搬実績	2021 年 6 月～ 2022 年 5 月	2022 年 6 月～ 2023 年 5 月	2023 年 6 月～ 2024 年 5 月
・一般廃棄物 実績(t)	7033.52	6853.43	6064.03
・産業廃棄物 実績(t)	468.53	489.34	635.99

④ 廃棄物処理料金

料金については、別途見積り。

2. 推進組織図

EA-21 推進組織図（環整工業）



環境方針

環整工業有限会社は、長年にわたり一般廃棄物処理業及び浄化槽等の汚水処理施設の維持管理を行い、地域の環境保全に取り組んでまいりました。

今後も事業を継続していくために当社の事業活動のあらゆる分野で環境に配慮した行動に努め、循環型社会の構築を目指し、地域の環境保全に貢献していきます。

1. 当社は一般廃棄物の収集運搬及び浄化槽の維持管理業務等の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 当社の行う事業活動に於いて環境に与える影響を削減するため、次の項目に対して優先的に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 効率的な収集運搬を確立することにより、燃料消費量を抑制し、排気ガスの排出量削減
 - ・ 事業活動に伴う、電力等の使用量を削減
 - ② 廃棄物の削減
 - ・ 事業活動によって生じる廃棄物の削減及び可能な限りのリサイクルの推進
 - ③ 作業全般の効率化を図ることにより、水資源及び紙資源の削減
 - ④ 化学物質の適正使用
4. 環境保全に関する啓蒙、啓発と地域での社会貢献活動に努めます。

この環境方針は当社全社員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

平成26年 6月 1日

環整工業 有限会社
取締役 内藤大蔵

4. 環境負荷の調査結果と取組み状況まとめ

環境負荷削減の目標及び環境活動計画を策定するため、過去3年間の環境負荷実績の調査結果と6月に実施した環境への取組み状況まとめは下表の通りである。

1) 環境負荷のとりまとめ表 (2024 年 6 月 作成)

		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
			2021 年 6 月～ 2022 年 5 月	2022 年 6 月～ 2023 年 5 月	2023 年 6 月～ 2024 年 5 月
① 温室効果ガス排出量	購入電力CO2排出量	Kg-CO ₂	8,853.02	6,980.13	6,767.04
	化石燃料CO2排出量	Kg-CO ₂	71,118.66	69,139.39	67,305.24
	CO2排出量 合計	kg-CO ₂	79,2971.68	76,119.53	74,072.27
② 総エネルギー投入量	購入電力	kwh	22,642.00	17,852.00	17,307.00
	化石燃料 ガス(LPG)	kg	23.39	2.90	3.93
	化石燃料 ガソリン	L	7,856.86	7,890.09	7,208.74
	化石燃料 軽油	L	20,473.09	19,699.88	19,600.45
③ 受託した収集運搬量	収集運搬量(一般廃棄物)	t	7,033.52	6,6853.43	6,064.03
	収集運搬量(産業廃棄物)	t	468.53	489.34	635.99
	中間処理量	t	-	-	-
	うち再資源化量	t	-	-	-
	最終処分量	t	-	-	-
	中間処理後の産廃の処分量	t	-	-	-
	うち再資源化量	t	-	-	-
④ 廃棄物等総排出量	再使用	t	0.000	0.000	0.000
	再生利用	t	4.963	4.174	5.199
	熱回収	t	0.000	0.000	0.000
	単純焼却	t	0.433	0.549	0.370
	最終処分量	t	0.261	0.079	0.213
⑤-1 水資源投入量	上水	m ³	91.68	88.87	92.89
	地下水	m ³	292.50	314.88	271.05
	河川水	m ³	1,546.00	2,229.51	1,395.44
⑤-2 総排水量	公共用水域	m ³	1,930.17	2,633.26	1,759.39
	下水道	m ³	-	-	-
	BOD	kg	1.10	0.28	1.39
⑥ 化学物質排出量	PRTR法対象物質	kg	0.00	0.00	0.00
	その他の物質 (公共用水域への排出)	kg	1,345.90	1,512.10	1,445.60
	その他の物質 (補修工事での使用量)	kg	4.42	42.60	5.10
⑦ 総物質投入量	資源投入量	kg	251.30	271.85	211.76
	その他投入量	kg	1,350.32	1,554.70	1,450.70
	グリーン購入	品目	21	35	34

※電力のCO2排出係数は 2021 年度九州電力調整後排出係数の 0.391 kg-CO₂/kWh を使用しています。

2)環境への取組み状況

環境への取組み状況まとめ表 (2024 年 5 月作成)

施 策		チェック 結果の点数	満点の場合 の点数	実施度合
1. 事業活動へのインプットに関する項目	1) 省エネルギー	62	68	91.2%
	2) 省資源	60	68	88.2%
	3) 水の効率的利用及び日常的な節水	31	34	91.2%
	4) 化学物質使用量の抑制及び管理	22	24	91.7%
小 計		175	194	90.2%
2. 事務所及び建設現場等の 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染 等の防止	12	22	54.5%
	2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適 正処理	55	60	91.7%
	3) 排水処理	33	36	91.7%
	4) その他生活環境に係る保全の取組 等	3	6	50.0%
小 計		103	124	83.1%
3. 製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入(環境に配慮した物品等 の購入、使用等)	7	14	50.0%
	2) 施工・販売・提供する製品及びサービ スにおける環境配慮	26	28	92.9%
小 計		33	42	78.6%
4. その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用 のための取組	3	6	50.0%
	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	5	22	22.7%
	3) 施主・事業主における建築物の増改 築、解体等に当たっての環境配慮	2	4	50.0%
小 計		10	32	31.3%
合 計		321	392	81.9%

5. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定した。（目標設定基準 2020 年度）

※化学物質削減はPRTR法対象物質を取扱っていない事から設定していない。

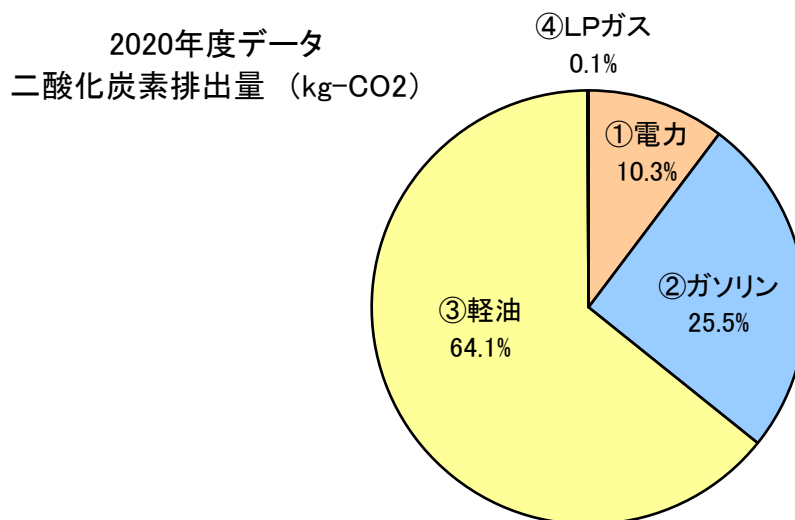
環境目標／取組み項目		環境目標			
		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		基準値		前年度	今年度
1. 二酸化炭素排出量の削減		総二酸化炭素排出量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		77297.88 Kg-CO2	77220.59 Kg-CO2	77143.29 Kg-CO2	77065.99 Kg-CO2
	①電気使用量の削減	総電気使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		20312.00 kWh	20291.69 kWh	20271.38 kWh	20251.06 kWh
	②ガソリン使用量の削減	総ガソリン使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		8492.69 L	8484.20 L	8475.70 L	8467.21 L
	③軽油使用量の削減	総軽油使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		19217.37 L	19198.15 L	19178.94 L	19159.72 L
	④LPガス使用量の削減	総LPガス使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		24.01 kg	23.99 kg	23.96 kg	23.94 kg
2. 廃棄物削減	①一般廃棄物の単純焼却量の削減	一般廃棄物の単純焼却量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		405.92 kg	405.51 kg	405.11 kg	404.70 kg
	②廃棄物リサイクル率の向上	廃棄物リサイクル率	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		63.60 %	63.70 %	63.80 %	63.90 %
3. 水資源使用量の削減	①上水使用量の削減	上水の使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		101.45 m ³	101.35 m ³	101.25 m ³	101.15 m ³
	②地下水使用量の削減	地下水の使用量	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		319.11 m ³	318.79 m ³	318.47 m ³	318.15 m ³
	《その他》河川水使用量の把握	河川水の使用量	河川水使用量の把握	河川水使用量の把握	河川水使用量の把握
4. 紙資源使用量の削減		紙資源使用量(年)	2020年度比 0.1%削減	2020年度比 0.2%削減	2020年度比 0.3%削減
		282.81 kg	282.53 kg	282.24 kg	281.96 kg
5. 化学物質の適正使用	① PRTR法対象物質使用量の把握		使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握
	② その他の物質		使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握
		1495.40 kg			
6. グリーン購入の推進		エコ商品購入品目数(年)	2020年度比 1品目増加	2020年度比 2品目増加	2020年度比 3品目増加
		25 品目	26 品目	27 品目	28 品目
7. 環境保全取組の向上	①環境保全取組み実施率の向上	環境保全取組み実施率	2020年度実績+ 1%向上	2020年度実績+ 2%向上	2020年度実績+ 3%向上
		78.2%	79.2%以上	80.2%以上	81.2%以上
	②汲取り計画収集推進率の向上	汲取り計画収集推進率	2020年度実績+ 0.1%向上	2020年度実績+ 0.2%向上	2020年度実績+ 0.3%向上
		88.4%	88.5%以上	88.6%以上	88.7%以上
	③浄化槽清掃率の向上	浄化槽清掃率	2020年度実績+ 0.1%向上	2020年度実績+ 0.2%向上	2020年度実績+ 0.3%向上
		97.8%	97.9%以上	98.0%以上	98.1%以上
	④口座引落とし推進率の向上	口座引落とし推進率	2020年度実績+ 0.1%向上	2020年度実績+ 0.2%向上	2020年度実績+ 0.3%向上
		49.6%	49.7%以上	49.8%以上	49.9%以上

6. 主要な環境活動計画の内容

当社は、2020年度事業活動を基準とし環境への負荷を低減するため、以下の通り活動を実施している。また、達成状況や活動の実施状況を3ヶ月毎のEA-21委員会にて検討を行い、各部門ミーティング等にて全従業員に伝達している。

1) 二酸化炭素排出量の削減

当社の二酸化炭素の排出源として①電気②ガソリン③軽油④LPガス（下記グラフ参照）がある。中でも大きな割合を占める、③軽油・②ガソリンを削減する事が、二酸化炭素の排出削減に、大きな効果がでると考えられる。



以上の事から当社では、①～④の排出源に対して下記の対策を実施している。

①電気使用量の削減

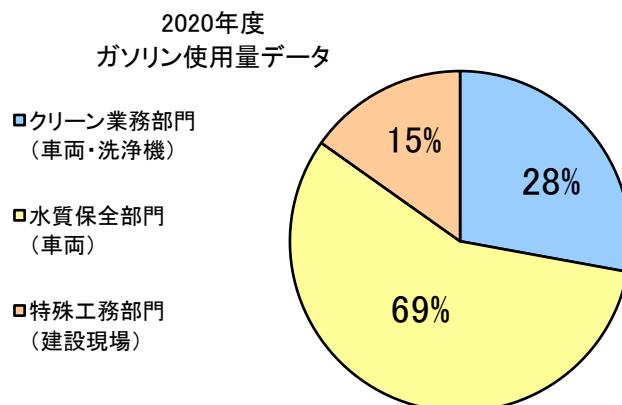
当社の電気使用は電力（事務所内の電気・電灯）及び動力（エアコン・コンプレッサ）を使用しており、節電等による使用量の削減に取り組んでいる。

- ・未使用時の電気消灯の実施
- ・空調温度管理の徹底
- ・節電シールの表示

②ガソリン使用量の削減

当社のガソリン使用は、二酸化炭素排出量において2番目の割合を占めている。主に車両燃料に使用しており、中でも水質保全部門の割合が多くなっている。（下記グラフ参照）この事から、エコドライブによる車両燃費の向上及び、作業効率を良くする事による使用量の削減を行う事が、二酸化炭素排出量の削減に大きな効果が得られると考え、使用量の削減に取り組んでいる。

- ・効率の良い作業スケジュールの検討実施
- ・担当地区の見直し検討
- ・燃料使用量と走行距離の把握
- ・エコドライブの実施
- ・日常点検・定期点検の実施



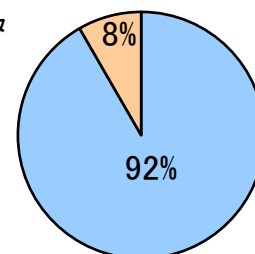
③軽油使用量の削減

当社の軽油使用は、二酸化炭素排出量において一番多い割合を占めている。
主に作業車両燃料に使用しており、中でもクリーン業務部門の割合が多くなっている。
このことから、作業時間を短縮させるために作業効率を上げ、軽油使用量の削減に取り組む事が二酸化炭素排出量の削減に大きな効果が得られると考え、削減に取り組んでいる。

- ・効率の良い作業スケジュールの検討実施
- ・燃料使用量と走行距離の把握
- ・エコドライブの実施
- ・日常点検・定期点検の実施

2020年度
軽油使用量データ

■ クリーン業務部門
■ 特殊工務部門
（建設現場）



④LPガス使用量の削減

当社のLPガス使用は給湯室（湯沸かし器・ガスコンロ）及びシャワー室にて使用しており、無駄の無い使用に取り組んでいる。

- ・使用時の火力調整
- ・無駄な使用時間の削減

2) 廃棄物削減

当社では、事業活動において発生した廃棄物を以下の通り大きく分類し、更にその中で種類ごとの分別を行い、重量の測定を実施している。

①リサイクル

・紙類・ダンボール・空缶・ペットボトル等

②一般廃棄物（単純焼却物）

・一般の焼却物・生ゴミ等

③産業廃棄物

・不燃ごみ・補修廃材等

これら細かな分別を行う事によりリサイクル率を高め、単純焼却量の削減に向けて取り組みを行っている。

- ・ゴミの重量把握
- ・自社内での細かなゴミ分別の実施と徹底

3) 水資源使用量の削減

当社の水資源の使用は、①上水・②地下水・③《その他》河川水を使用している。
使用量の記録方法として基準となる2020年では

上水……………毎月、水道メーター値を記録

地下水……………井戸ポンプに水量メータを設置し、毎月値を記録

河川水……………毎月、ポンプ運転時間を記録

それぞれの水資源の使用量を把握して使用量削減に取り組んでいる。

以上のことから当社では、①～③の排出源に対して下記の対策を実施している。

①上水使用量の削減

当社の上水使用は事務所内使用水で、この使用量の削減に取り組んでいる。

- ・水使用量の把握
- ・節水シール等の表示

②地下水使用量の削減

当社の地下水使用は、主に場内での作業水及び洗濯水等で、使用量の削減に取り組んでいる。

- ・水使用量の把握
- ・洗車方法及び時間の短縮
- ・節水シール等の表示

③《その他》 河川水使用量の把握

当社の河川水使用は、主に浄化槽清掃後の張り水及び洗車作業水等で、タンクを設置し雨水も合わせて貯留させ使用量の把握に取り組んでいる。

- ・水使用量の把握
- ・洗車方法及び時間の短縮



4) 紙資源使用量の削減

当社の紙資源の使用は主にOA用紙及び作業時使用する複写用紙等で、削減に取り組んでいる。

- ・毎月の紙使用量の把握
- ・裏紙利用の実施
- ・出力及び記入ミス等の防止

5) 化学物質の適正使用

当社はPRTR法対象の化学物質は使用していない。

その他、業務に使用している化学物質を対象として適正使用及び使用量の把握に取り組んでいる。

- ・化学物質使用量の把握
- ・MSDS(安全データシート)による成分の把握
- ・化学物質適正使用の実施

6) グリーン購入の推進

当社のグリーン購入は主に事務用品のエコマーク商品等で、購入品目の増加を推進している。

- ・エコマーク商品の調査
- ・エコマーク商品の優先購入・把握

7) 環境保全取組みの向上

当社は全体的な環境保全の取組みとして①環境保全取組み実施度の向上を実施し、当社独自に設定した顧客に向けた取組みとして、②～④の取組みを実施している。

① 環境保全取組み実施度の向上

6月に実施した「環境への取組の自己チェック」の結果を参考に取組み易い項目から活動計画を策定し、活動を実施している。

- ・環境教育の実施
- ・作業現場における環境保全の徹底
- ・事務所周辺の清掃 除草作業
- ・その他

②汲取り計画収集の推進率の向上

当社独自に設定した環境保全の取組みとして、計画収集(役所等と連携して、汲取り作業を区域分けし、曜日ごとに区域収集を実施する)を実施する事により無駄な車両燃料の消費を削減する取組みを実施している。 ※顧客からの電話連絡による計画収集外の収集依頼を評価の判断としている。

- ・顧客への十分な説明
- ・顧客の使用状況を考えた計画収集の実施

③浄化槽清掃率の向上

当社独自に設定した環境保全の取組みとして、受託管理を行っている浄化槽の放流水による水質汚濁を軽減する目的として、浄化槽の毎年1回以上の清掃(浄化槽法第10条)実施について推進する取組みを実施している。 ※年一回の清掃実施を評価の判断としている。

- ・顧客へ浄化槽による水環境への影響についての説明
- ・顧客へ浄化槽清掃の必要性について説明
- ・顧客の浄化槽使用上のマナーアップに向けた取組みの実施

④口座引落とし推進率の向上

当社独自に設定した環境保全の取組みとして、集金による作業料金の回収を、銀行口座からの引落としに切り替え、作業時間の短縮と個別集金による車両燃料の消費を削減する取組みを実施している。 ※銀行口座引落とし件数を評価の判断としている。

- ・顧客へチラシの配布
- ・集金時に説明とお願い

7. 実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りとなった。

- ※1 基準値は 2020 年度の値とし、削減目標値は 2020 年度から目標分削減した値とする。
- ※2 達成率は 2023 年度の削減目標値と、実績値との比較とする。
- ※3 評価は、目標が達成できれば ○ とし、達成できなければ × とする。
- ※4 それぞれの値は年度間の合計値とする。

1) 二酸化炭素排出量の削減

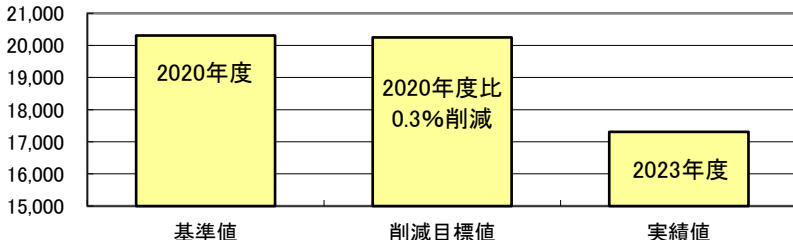
2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月		2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 総CO2排出量(①～④)	削減目標値	実績値			
77297.88 kg-CO2	77065.99 kg-CO2	74072.27 kg-CO2		103%	○
78,000 77,000 76,000 75,000 74,000 73,000 72,000 2020年度 全体 2020年度比 全体目標 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

全体の二酸化炭素排出量削減を達成できた。

- ※二酸化炭素排出量は、排出計算に基づいて計算を行っている。
- ※電力のCO2排出係数は 2021 年度九州電力調整後排出係数を使用しています。

なお、基準となる詳細については、下記のデータ①～④に記載している。

① 電力使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月		2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 総電気使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
20312.00 kWh	20251.06 kWh	17307.00 kWh		114%	○
					

電力使用量の削減目標を達成できた。

② ガソリン使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月		2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 ガソリン使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
8492.69 L	8467.21 L	7208.74 L		114%	○
9,000 8,500 8,000 7,500 7,000 6,500 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

ガソリン使用量の削減目標を達成できた。

(各部門別の達成状況)

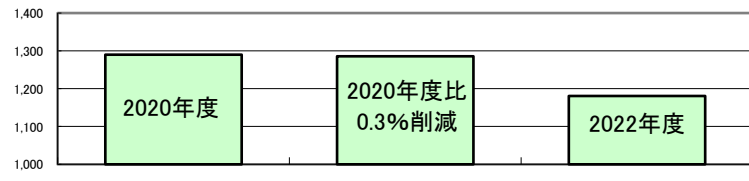
○クリーン業務部門

2020 年度		2023 年度		達成率	評価
基準値 ガソリン使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
2367.87 L	2360.77 L	1781.47 L		124%	○
2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

○水質保全部門

2020 年度		2023 年度		達成率	評価
基準値 ガソリン使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
4834.99 L	4820.49 L	4246.13 L		111%	○
4,900 4,800 4,700 4,600 4,500 4,400 4,300 4,200 4,100 4,000 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

○特殊工務部門

2020 年度		2023 年度		達成率	評価
基準値 ガソリン使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
1289.83 L	1285.96 L	1181.14 L		108%	○
					

③ 軽油使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月		2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 軽油使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
19217.37 L	19159.72 L	19600.45 L		97%	×
19,700 19,600 19,500 19,400 19,300 19,200 19,100 19,000 18,900 2020年度 2020年度 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

軽油使用量の削減目標は未達成だった。

(各部門別の達成状況)

○クリーン業務部門

2020 年度		2023 年度		達成率	評価
基準値 軽油使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
17616.64 L	17563.79 L	17507.45 L		100%	○
17,700 17,600 17,500 17,400 17,300 17,200 17,100 17,000 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

○水質保全部門 ※軽油使用なし

○特殊工務部門

2020 年度		2023 年度		達成率	評価
基準値 軽油使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
1600.73 L	1595.93 L	2093.00 L		68%	✕
2,200 2,000 1,800 1,600 1,400 1,200 1,000 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度					
基準値		削減目標値			

④ LPガス使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月		2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 LPガス使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値			
24.01 kg	23.94 kg	3.93 kg		183%	○
30.00 25.00 20.00 15.00 10.00 5.00 0.00 2020年度 2020年度比 0.3%削減 2023年度 基準値 削減目標値 実績値					

LPガス使用量の削減目標を達成できた。

2) 廃棄物削減（汚泥は含まない）

※廃棄物として汚泥は含まない 汚泥の量が多すぎて正確な廃棄物量の把握が困難となる。

① 一般廃棄物の単純焼却量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 一般廃棄物単純焼却量	削減目標値 0.3%削減	実績値		
405.92 kg	404.70 kg	368.24 kg	109%	○

一般廃棄物の単純焼却量削減目標は達成できた。

② 廃棄物リサイクル率の増加

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 廃棄物リサイクル率	目標値 リサイクル率の 0.3%向上	実績値		
63.6 %	63.9 %	72.0 %	112%	○

廃棄物リサイクル率の向上目標は達成できた。

3) 水資源使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 水資源総使用量(①・②)	削減目標値 0.3%削減	実績値		
420.55 m ³	419.29 m ³	363.95 m ³	113%	○

全体の水資源使用量を削減する目標は達成できた。

なお、基準となる詳細については、下記のデータ①～③に記載している。

① 上水使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 上水使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値		
101.45 m ³	101.15 m ³	92.89 m ³	108%	○

上水の使用量削減は達成できた。

② 地下水使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 地下水使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値		
319.11 m ³	318.15 m ³	271.05 m ³	114%	○

地下水の使用量削減目標は達成できた。

《その他》 河川水使用量の把握

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 河川水使用量	目標 使用量の把握	実績値		
1028.59 m ³	— m ³	1395.44 m ³	—	○

河川水の使用量を把握する目標は達成できた。

4) 紙資源使用量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 紙資源使用量	削減目標値 0.3%削減	実績値		
282.81 kg	281.96 kg	211.76 kg	124%	○

紙資源の使用量削減する目標は達成できた。

5) 化学物質の適正使用

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 化学物質使用量	目標 使用量の把握	実績		
1495.4 kg	— kg	1450.7 kg	—	○

化学物質使用量を把握する目標は達成できた。※PRTR 法対象物質の使用は有りません。

6) グリーン購入の推進

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 エコ商品購入品目数	目標 3 品目増加	実績		
25 品目	28 品目	34 品目	—	○

エコ商品購入品目を増やす目標は達成できた。

7) 環境保全取組の向上

当社での、環境保全の取り組みとして、下記の①～④に取り組んでいる。

① 境保全取組み実施率の向上

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 環境保全取組み実施度	目標値 0.3%向上	実績値		
78.2 %	81.2 %	81.9 %	100%	○

環境保全取組み実施度の向上は達成できた。

② 汲取り計画収集推進率の向上

※推進率を向上させ、燃料消費量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 汲取り計画収集推進率	目標値 0.3%向上	実績値		
88.4 %	88.7 %	86.8 %	97%	×

汲取り計画収集率の向上は未達成だった。

③ 浄化槽清掃率の向上

※清掃率を向上させ、顧客浄化槽放流水の水質汚濁を軽減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 浄化槽清掃率	目標値 0.3%向上	実績値		
97.8 %	98.1 %	96.4 %	98%	×

浄化槽清掃率を向上させる目標は未達成だった。

④ 口座引落とし推進率の向上

※口座引落とし推進率を向上させ、燃料消費量の削減

2020 年度 2020 年 6 月～2021 年 5 月	2023 年度 2023 年 6 月～2024 年 5 月		達成率	評価
基準値 口座引落とし推進率	目標値 0.3%向上	実績値		
49.6 %	49.9 %	47.3 %	94%	×

口座引落とし推進率を向上させる目標は未達成だった。

8. 環境活動取組結果の評価と次年度の取組

環境管理責任者の評価と次年度の取組

今年度も公共下水道の推進に伴い、主業務となる『一般廃棄物の収集運搬』及び『浄化槽に関する業務』の顧客数及び作業量が減少しているなか、『産業廃棄物の収集運搬業務』や、『下水道に関する業務』等、業務拡大に取り組んでいる。

二酸化炭素排出量の削減については、車両燃料(ガソリン・軽油)の使用量が作業量に伴って減少している部分と、移動距離増加や夏場・冬場のエアコン使用量増加に伴って、増加している部分がある。

今後の環境活動の取組は、業務内容の変化とあわせてEA-21の取組みと運用も徐々に変化させる必要があると考えられる。

1) 二酸化炭素排出量の削減

全体、二酸化炭素排出量の削減目標は達成できた。

① 電気使用量の削減

削減目標は、達成できた。(電力 100v・動力 200v)

② ガソリン使用量の削減

削減目標は、達成できた。

公共下水道の推進による全体的に顧客数が減少しているため削減となったと考えられる。
アイドリングストップや、冷暖房の無理のないレベルで適正使用を進めていく。

③ 軽油使用量の削減

削減目標は、未達成だった。

クリーン業務の産廃運搬や特殊工務の浚渫等による燃料増加
アイドリングストップや、冷暖房の無理のないレベルで適正使用を進めていく。

④ LPガス使用量の削減

削減目標は、達成できた。 今年度は、使用が極端になかった。

2) 廃棄物削減

ゴミ分別に関する従業員の意識も向上してきたが、分類が複合して分別に時間が掛かるゴミについては不燃ゴミとして出されていた。リサイクル率の向上のためにも、より細かな分別が必要となるが、分別するための効率なども考えて取組みを行う必要があると思われる

※廃棄物として汚泥は含んでいない。

① 一般廃棄物の単純焼却量の削減

一般廃棄物の単純焼却量を削減する目標は達成できた。

② 廃棄物リサイクル率の増加

廃棄物リサイクル率を削減する目標は達成できた。

3) 水資源使用量の把握・削減

全体の水資源使用量削減は①上水・②地下水を対象としている。
地下水については把握を目的としている。

① 上水使用量の削減

使用量を削減する目標は達成できた。

② 地下水使用量の削減・把握

地下水の使用量を削減する目標は達成できた。

《その他》 河川水使用量の把握

河川水については、主に浄化槽の張り水に使用し、顧客宅で使用していた上水・地下水の使用量を削減している。このため、水資源の有効活用としては使用量の削減ではないと考え、把握することを目標としている。

4) 紙資源使用量の削減

紙資源使用量の削減する目標は達成できた。

5) 化学物質の適正使用

化学物質を把握する目標は達成できた。

当社は、PRTR法対象の化学物質を使用していない。

その他事業活動に必要な化学物質として顧客浄化槽内補充用の消毒剤・工事用の補修剤 等を使用している。これらの化学物質を適正使用し、使用量を把握する事を目標としている。

6)グリーン購入の推進

エコ商品購入品目数を増やす目標は達成できた。

7)環境保全取組みの向上

EA-21の取組みを行い、少しずつではあるが従業員の環境に対する意識は、向上していると思われる。しかし、②～④の顧客等に向けた取組みについては、顧客の考えに大きく左右されてしまう。このため、環境に対する意識を向上させるには、粘り強い取組みが必要と思われる。

①環境保全取組み実施度の向上

環境保全取組み実施度の向上は達成できた。

②汲取り計画収集の推進率向上

汲取り計画収集の推進率向上は未達成だった。

③浄化槽清掃率の向上

浄化槽清掃率を向上させる目標は未達成だった。

④口座引落とし推進率の向上

口座引落とし推進率を向上させる目標は未達成だった。

次年度活動計画 2024 年度 (2024 年 6 月～2025 年 5 月)

No.	環境目標／取組み項目	実施部門 責任者	実 施 事 項
1	二酸化炭素排出量の削減 ① 電気使用量の削減 《目標》 2023 年度比 0.1 %削減	全体 内藤 京子	① 未使用時の電気消灯の実施 ② 事務所・休憩所の空調温度管理
	② ガソリン使用量の削減 《目標》 2023 年度比 0.1 %削減	クリーン業務 八谷 孝文	① 効率の良い作業スケジュールの検討実施 ② 燃料使用量と走行距離のチェック ③ エコドライブの説明・実施 ④ 日常点検・定期点検の実施
	③ 軽油使用量の削減 《目標》 2023 年度比 0.1 %削減	水質保全 山口 隆博	① 効率の良い作業スケジュールの検討実施 ② 担当地区の見直し・変更 ③ 燃料使用量と走行距離のチェック ④ エコドライブの実施 ⑤ 日常点検・定期点検の実施
	④ LPガス使用量の削減 2023 年度比 0.1 %削減	特殊工務 内藤 広作	① 効率の良い作業スケジュールの検討実施 ② 燃料使用量と走行距離のチェック ③ エコドライブの実施 ④ 日常点検・定期点検の実施
	《その他 活動テーマ》 車両及び機器類故障ロスの把握	全体 内藤 広作	① 故障回数の把握 ② 過去の修理実施記録の調査・活用 ③ 日常点検による予防保全の実施 ④ 機器の故障停止の防止 ⑤ 運転操作技術の向上 ⑥ 車両や道具等メンテナンスの実施
2	廃棄物削減 (汚泥は含まない) ①一般廃棄物の単純焼却量の把握 2023 年度比 0.1 %削減 ②廃棄物リサイクル率の把握 2023 年度比 0.1 %向上	全体 川本 浩章	① ゴミ数量の把握 ② ゴミ分別の実施と徹底
3	水資源 使用量の削減(河川水を除く) 2023 年度比 0.1 %削減 ①上水 使用量の削減 2023 年度比 0.1 %削減 ②地下水 使用量の削減 2023 年度比 0.1 %削減 《その他》 河川水使用量の把握	全体 川本 浩章	① 水使用量の把握 ② 車両の洗車時間の短縮化検討・実施 ③ 節水シール等の表示
4	紙資源 使用量の削減 2023 年度比 0.1 %削減	全体 内藤 京子	① 毎月の紙使用量の把握 ② 裏紙利用の実施 ③ 出力・記入ミスの防止
5	化学物質の適正使用 ①PRTR法対象物質 使用量の把握 ②その他の物質 使用量の把握	全体 川本 浩章	① 化学物質使用量の把握 ② MSDS(安全データシート)による成分の把握 ③ 化学物質適正使用の実施
6	グリーン購入の推進 2023 年度比 1 品目増加	事務所 内藤 京子	① 事務用品でエコマーク商品の調査 ② 事務用品でエコマーク商品の優先購入・把握 ③ 建設資機材グリーン購入の検討・推進
7	環境保全取組の向上 ①環境保全取組み実施率の向上 2023 年度実績＋ 1 %の向上	全体 川本 浩章	① 環境教育の実施 ② 作業現場における環境保全の徹底 ③ 事務所周辺の清掃 ④ 取組み状況確認
	②汲取り計画収集推進率の向上 2023 年度実績＋ 0.1 %の向上	クリーン業務 八谷 孝文	① 顧客への十分な説明の実施 ② 顧客の使用状況を考えた計画収集の実施 ③ 取組み状況確認
	③浄化槽清掃率の向上 2023 年度実績＋ 0.1 %の向上	水質保全 山口 隆博	① 顧客へ浄化槽による水環境への影響について説明 ② 顧客へ浄化槽清掃の必要性について説明 ③ 顧客のモラル向上の推進 ④ 取組み状況確認
	④口座引落し推進率の向上 2023 年度実績＋ 0.1 %の向上	全体 内藤 京子	① 顧客へチラシの配布 ② 集金時の説明とお願い ③ 取組み状況確認

中期環境目標 (2024 年度～2026 年度)

※基準は 2023 年度の実績値 ※2023 年度電力の二酸化炭素排出係数 0.406 kg-co2/kwh

環境目標／取組み項目		環境目標			
		2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
		基準値	次年度		
1. 二酸化炭素排出量の削減	総二酸化炭素排出量	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		74331.88 Kg-CO2	74257.55 Kg-CO2	74183.22 Kg-CO2	74108.88 Kg-CO2
	①電気使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		17307.00 kWh	17289.69 kWh	17272.39 kWh	17255.08 kWh
	②ガソリン使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		7208.74 L	7201.53 L	7194.32 L	7187.11 L
	③軽油使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		19600.45 L	19580.85 L	19561.25 L	19541.65 L
	④LPガス使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		3.93 kg	3.93 kg	3.93 kg	3.92 kg
2. 廃棄物削減	①一般廃棄物の単純焼却量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		368.24 kg	367.87 kg	367.50 kg	367.14 kg
	②廃棄物リサイクル率の向上	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		72.00 %	72.10 %	72.20 %	72.30 %
3. 水資源使用量の削減	①上水使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		92.89 m ³	92.80 m ³	92.70 m ³	92.61 m ³
	②地下水使用量の削減	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		271.05 m ³	270.78 m ³	270.51 m ³	270.24 m ³
	《その他》河川水使用量の把握	河川水使用量の把握	河川水使用量の把握	河川水使用量の把握	河川水使用量の把握
4. 紙資源使用量の削減	紙資源使用量(年)	2023年度比 0.1%削減	2023年度比 0.2%削減	2023年度比 0.3%削減	2023年度比 0.3%削減
		211.76 kg	211.55 kg	211.34 kg	211.12 kg
5. 化学物質の適正使用	① PRTR法対象物質使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握
	② その他の物質	使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握	使用量の把握
6. グリーン購入の推進	エコ商品購入品目数(年)	2023年度比 1品目増加	2023年度比 2品目増加	2023年度比 3品目増加	2023年度比 3品目増加
		34 品目	35 品目	36 品目	37 品目
7. 環境保全取組の向上	①環境保全取組み実施率の向上	2023年度実績+ 1%向上	2023年度実績+ 2%向上	2023年度実績+ 3%向上	2023年度実績+ 3%向上
		81.9%	82.9%以上	83.9%以上	84.9%以上
	②汲取り計画収集推進率の向上	2023年度実績+ 0.1%向上	2023年度実績+ 0.2%向上	2023年度実績+ 0.3%向上	2023年度実績+ 0.3%向上
		86.8%	86.9%以上	87.0%以上	87.1%以上
	③浄化槽清掃率の向上	2023年度実績+ 0.1%向上	2023年度実績+ 0.2%向上	2023年度実績+ 0.3%向上	2023年度実績+ 0.3%向上
		96.4%	96.5%以上	96.6%以上	96.7%以上
	④口座引落とし推進率の向上	2023年度実績+ 0.1%向上	2023年度実績+ 0.2%向上	2023年度実績+ 0.3%向上	2023年度実績+ 0.3%向上
		47.3%	47.4%以上	47.5%以上	47.6%以上

社長による全体の評価と見直し結果

EA－21委員会での2023年度取組み結果報告に於ける社長の評価と見直し結果

(2024年6月7日実施)

インプット情報		情報内容・資料等	社長による指示事項
①環境への負荷の自己チェック結果		2024年6月作成のCO2指標9項目と取りまとめ表・事業規模等データ（3年分のデータ）で説明	指示事項なし
②環境への取組の自己チェック結果		2024年5月作成の取組状況チェックシートで説明	指示事項なし
③環境関連法規制等一覧表/遵守状況のチェック結果		「環境関連法規制等一覧/遵守状況のチェック結果表」で説明	指示事項なし
④環境目標の達成度		2023年6月から2024年5月まで 集計結果 実績値 / 目標値 達成率 CO2排出: 77065.99 / 74072.27 kg-CO2 103% 電力: 20251.06 / 17307.00 kWh 114% ガソリン: 8467.21 / 7208.74 L 114% 軽油: 19159.72 / 19600.45 L 97% LPガス: 23.94 / 3.93 kg 183% 単純焼却: 404.70 / 368.24 kg 109% リサイクル率: 63.90 / 72.00 % 112% 上水 101.15 / 92.89 m³ 108% 地下水 318.15 / 271.05 m³ 114%	・達成率が低い項目については取組み内容について検討して下さい。
⑤環境活動計画の実施状況		環境活動計画表及び環境目標/活動計画管理表で説明	
⑥教育・訓練実施結果		環境教育・訓練計画/実施結果で説明	指示事項なし
⑦苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果		外部環境情報記録表で説明	指示事項なし
⑧緊急事態の準備及び訓練結果		緊急事態対応手順と訓練結果で説明	指示事項なし
⑨問題点の是正・予防処置の状況		問題点の是正/予防処置報告書で説明	指示事項なし
⑩環境関連文書・記録の作成・整理状況(環境活動レポート含む)		環境文書9種類・環境記録13種類ファイリングで確認(環境活動レポートは、見直しが終了後作成)	環境活動レポートを早急に作成して下さい。
指示事項等に対する決定・処置内容	①環境方針	変更なし	
	②環境目標	2024年度からの目標を作成・・・(環境管理責任者 川本)	
	③環境活動計画	指示事項なし	
	④実施体制	変更なし	
	⑤環境経営システム	環境活動レポートの作成・・・(環境管理責任者 川本)	

環整工業 有限会社
取締役社長 内藤 大蔵

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1)、関連法規制の違反

関連法規制の、遵守状況確認を毎年1回実施しており、違反は過去3年間なかった。

環境関連法規制 順守評価表

No.	法規制等	適用条項等	評価
1	浄化槽法	浄化槽設置の届出	○
		法定検査の遵守	○
		保守点検の遵守	○
		清掃の遵守	○
		浄化槽清掃業の許可	○
		標識の掲示	○
		帳簿の備付け等	○
		浄化槽保守点検業の許可	○
		浄化槽保守点検業務の資格	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物の収集・運搬業の許可	○
		一般廃棄物処理基準の遵守	○
		変更の許可	○
		変更の届出	○
		欠格要件に係る届出	○
		名義貸しの禁止の遵守	○
		再委託の禁止の遵守	○
		帳簿の記載義務	○
		帳簿の保存義務	○
		産業廃棄物の収集・運搬業の許可	○
		排出事業者との収集・運搬、処分の個別委託契約の締結	○
		地方公共団体への協力	○
		一般廃棄物処理の委託	○
		産業廃棄物の保管	○
		産業廃棄物処理の委託	○
		委託の基準	○
		委託契約書の保存期間の遵守	○
		承諾に係る書面の写しの保存期間の遵守	○
		産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付	○
		管理票交付者の報告書の作成・提出	○
3	建設リサイクル法	建設業者の責務の遵守	○
		関係者の責務の遵守	○
4	資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	関係者の責務の遵守	○
5	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	事業者の責務の遵守	○
6	特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律(家電リサイクル法)	関係者の責務 R-1(対象品目機種)の遵守	○
7	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	自動車所有者の責務の遵守	○
		再資源化等預託金の預託	○
8	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第1種特定製品廃棄者の引渡し義務の遵守	○
		第1種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等	○
		冷凍空調機器の適正な管理とフロン類の排出抑制	○
9	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	事業者及び国民の責務の遵守	○
10	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	事業者の責務の遵守	○
		排出量及び移動量を把握	○
11	毒物劇物取締法	毒物、劇物の取り扱い	○
		毒物、劇物の表示	○
		緊急時の届け出	○

No.	法規制等	適用条項等	○
1	佐賀県環境基本条例	事業者の責務の遵守	○
2	浄化槽保守点検業者の登録に関する条例	登録をする	○

2)、地域住民からの苦情・クレーム

地域住民から苦情はなかった。

3)、利害関係者からの訴訟等

利害関係者などからの訴訟等はなかった。